

令和 7 年度 ニシン漁獲物調査速報 (2)：小樽地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 8 年 1 月 25 日に小樽市漁協で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。小樽市漁協職員の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

小樽地区ではサイズ別に大きいほうから「1 番」、「2 番」、「3 番」という銘柄がありますが、1 月 25 日漁獲（26 日販売）では、「1 番」が 17 箱、「2 番」が 16 箱、「3 番」が 20 箱、そして 1 番と 2 番の込みが 1,140 箱などが出荷されていたようです。

2. 銘柄「1 番」の結果

銘柄「1 番」の標本 43 尾中、オスが 15 尾、メスが 28 尾でした。メスは不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものは皆無でした。卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体（熟度 40）は 23 尾（82%）でした。完熟に近いが卵粒の透明感に欠け完熟少し前といった個体（熟度 30）は 5 尾（18%）でした。平均卵巣重量（最小～最大）は、89.5 g（68.2～114.5 g）でした。尾叉長 31～33 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 330～449 g が中心となっていました（図 2）。

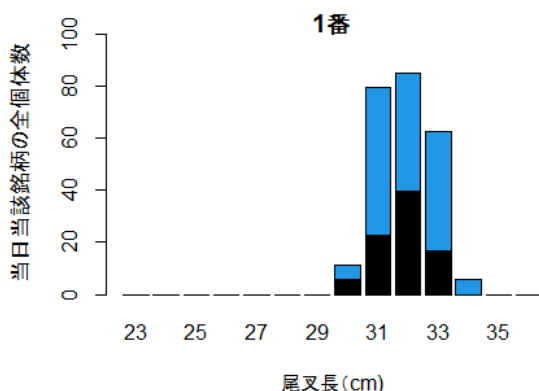


図 1 銘柄「1 番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

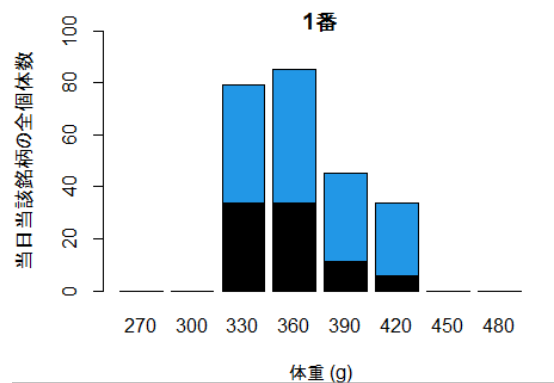


図 2 銘柄「1 番」の体重（黒：オス、水色：メス）

3. 銘柄「2 番」の結果

銘柄「2 番」の標本 53 尾中、オスが 30 尾、メスが 21 尾でした。メスは不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものは皆無でした。卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体（熟度 40）は 16 尾（76%）でした。完熟に近いが卵粒の透明感に欠け完熟少し前といった個体（熟度 30）は 5 尾（24%）でした。平均卵巣重量（最小～最大）は、71.3 g（43.5～83.1 g）でした。尾叉長 30～31 cm 台の個体が多く（図 3）、体重 300～329 g が中心となっていました（図 4）。

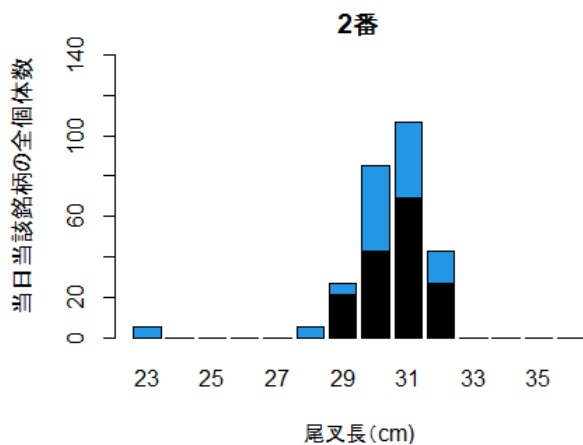


図3 銘柄「2番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

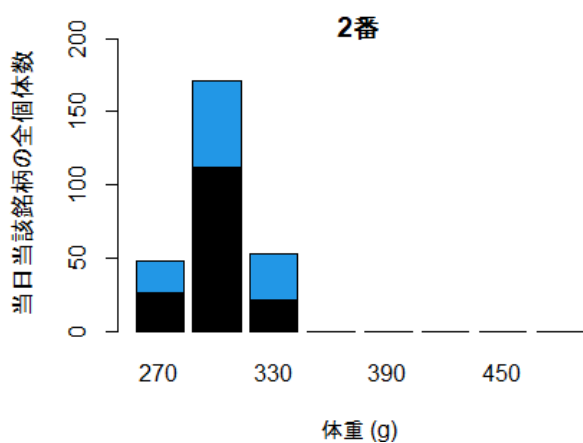


図4 銘柄「2番」の体重組成（黒：オス、水色：メス）

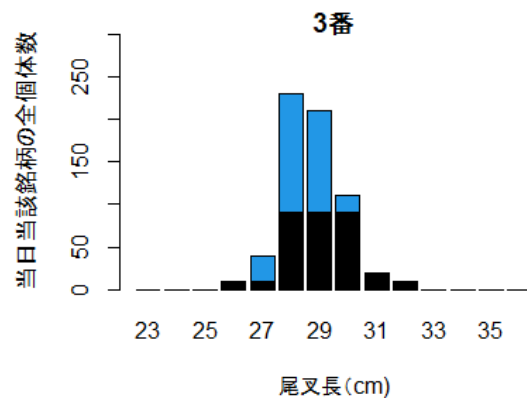


図5 銘柄「3番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

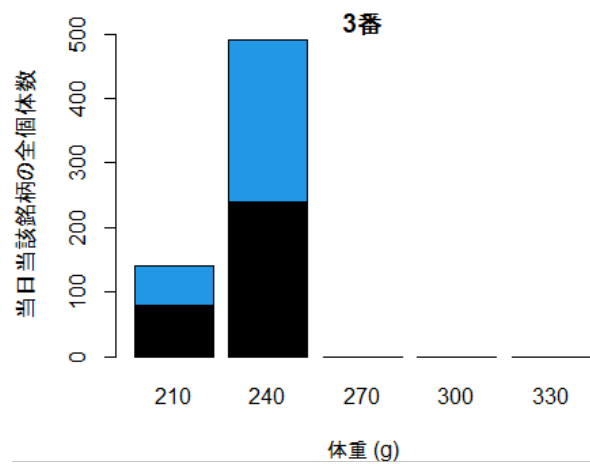


図6 銘柄「3番」の体重組成（黒：オス、水色：メス）

4. 銘柄「3番」の結果

銘柄「3番」の標本 63 尾中、オスが 32 尾、メスが 31 尾でした。メスは不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものは皆無でした。卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体（熟度 40）は 23 尾（74%）でした。完熟に近いが卵粒の透明感に欠け完熟少し前といった個体（熟度 30）は 8 尾（26%）でした。平均卵巣重量（最小～最大）は、55.1 g（36.3～68.6 g）でした。尾叉長 28～30 cm 台の個体が多く（図 5）、体重 240～269 g が中心になっていました（図 6）。